

IO DATA

GigaCrysta

MANU000807

保証書は添付しておりません
修理の際には、購入日の証明（レシート・納品書など）が必要です。
大切に保存してください。

表面

裏面

●添付品を確認する

●台座を取り付ける

●つなぐ

●使う

●安全のために

●使用上の注意

●困ったときには

●アフターサービス

●ハードウェア保証規定

●液晶ディスプレイの回収・リサイクル

165Hz対応 27型ワイド液晶ディスプレイ

LCD-GC2727HXDシリーズ

HDMI

添付品を確認する

□ 台座

□ HDMI ケーブル

□ 電源コード

□ DisplayPort ケーブル

台座を取り付ける

取り付け時・調節時のご注意

液晶パネル（表示面）が故障または破損する原因になります。

●本製品を床などに落とさない ●液晶パネルを傷つけない

●液晶パネルを手で押さえない

テーブルなどの平らな場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを下にして置く

↓

ネックを反時計回りに 90° 回転する

↓

ネックの金具を台座の穴に引っ掛ける

↓

台座のネジの金具を起こし、時計回りに回して台座を固定する

※固定した後は、ネジの金具を倒す

モニターアーム（VESA）に取り付ける

●固定用ネジ：M4×10mm
（モニターアームの金具の厚みにより異なる）

●本製品質量：約5.5Kg（ネック・台座除く）

●VESAマウントインターフェース：100mm×100mm

●締付けトルク：0.9～1.1N・m（9～11kgf・cm）

●最大上下傾き：上20°、下3°

※ドライバーを使ってネジを締付けてください。スパナなど他の工具で締付けると、ネジ穴が破損する恐れがあります。

モニターアームに取り付ける

※固定した後は、ネジの金具を倒す

つなぐ

1 パソコンや映像機器とつなぐ

映像出力の端子にケーブルをつなぐ

HDMIケーブル
DisplayPortケーブル

映像入力端子とつなぐ

HDMI 1～3
DP (DisplayPort)

ケーブルホルダー
ケーブルがすっきり
まとまります。

映像入力端子と解像度

映像入力端子	最大解像度
HDMI 1	1920x1080 (165Hz)
HDMI 2～3	1920x1080 (120Hz)
DP (DisplayPort)	1920x1080 (165Hz)

※HDMI接続で165Hzに対応する端子はHDMI 1です。

3 必要なら、外部スピーカーとつなぐ

調節時のご注意

手や指をはさまないように注意してください。

「LINE OUT」とつなぐ

- ケーブルは、はさんだり、引っ張ったりしないように、余裕を持って取り回してください。
- 回転する際は、以下のようにしてください。
1. ケーブルホルダーからケーブルを外す

2. 高さを最も高くなるように調節する

3. 液晶パネルを一番上に向ける（最大まで後ろに傾ける）

4. ゆっくりと90°回す

その他の機能について

イルミネーション
メインメニューの「イルミネーション」で光り方を設定できます。

USB SERVICE
システム更新に使用します。通常は使いません。
※システム更新については、『詳細ガイド』（本紙【使う】内のコラム参照）をご覧ください。

EAR PHONE ヘッドホンをつなぐ
※ヘッドホンを耳に付けたままつながないでください。

盗難対策をする
盗難対策にケンジントン製ロックを取り付けられます。

スピーカー

2 電源コンセントとつなぐ

「AC POWER IN」に奥までしっかりと差し込む

ご注意：アースについては以下を守る

●必ずアースをつないでから、電源プラグをコンセントにつなぐ

●電源プラグを抜いてから、アースを外す

守らないと、発火・感電の原因になります。

使う

ボタンの操作方法

各マークの真裏より上にあるボタンを押して操作します。

電源を入れる／切る

ボタンを押します。

電源ランプについて

青点灯	電源入
オレンジ点灯	節電状態
消灯*	電源切

※設定によっては、電源入や節電状態でも消灯するようにできます。

表示する映像を切り換える（入力切換）

- ① 電源以外のボタンの内、どれかを押します。
- ② [入力切換]のボタンを押します。
- ③ 表示する映像を入力端子名で選びます。

音量を調節する

- ① 電源以外のボタンの内、どれかを押します。
- ② [音量]のボタンを押します。
- ③ 音量を調節します。

画面の明るさ（輝度）を調節する

- ① 電源以外のボタンの内、どれかを押します。
- ② [輝度]のボタンを押します。
- ③ 輝度を調節します。

詳細な設定をする（スタートメニュー）

- ① 電源以外のボタンの内、どれかを押します。
- ② [メニュー]のボタンを押します。
⇒ スタートメニューが開きます。
- ③ [メインメニュー]を選んで、[決定]のボタンを押します。
メインメニューでは、詳細な設定ができます。

お気に入り機能

本製品には、よく使う設定項目を「お気に入り」として登録する機能があります。
「お気に入り」として登録した設定項目はスタートメニューに表示され、メインメニューを開くことなく呼び出すことができます。
◆お気に入りを登録するには
スタートメニューからメインメニューを開き、登録したい項目で「決定」のボタンを3秒間押し続けます。

メニュー操作を無効化する（メニューロック）

左から2番目のボタンを3秒間押し続けます。
解除も同様の操作でできます。

設定については、『詳細ガイド』をご覧ください

https://www.iodata.jp/lib/manual/lcd_239719/

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

警告 この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

禁止

指示を守る

警告

- 本製品を修理・分解・改造しない
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。
- 雷が降り出したら、本製品や電源コードには触れない
感電の原因になります。
- 本製品をぬらしたり、水気の多い場所 で使わない
水や洗剤などが本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺で使う際は、特に注意する
- 水の入ったもの（コップ、花瓶など）を上に置かない
- 万一、本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使わない
- 添付の電源コードは、他の機器につな 発火や感電の原因になります。添付の電源コードは、本製品専用です。
- 電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。
- じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。
- ゆるいコンセントにつながらない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでみてもゆるみがある場合はつながないでください。発熱して発火の原因になります。
- テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する。たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量（1500Wなどの記載）を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。
- 故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。
- コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つまったホコリが電気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）
- 接地接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に接続してください。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- 高所に設置しない
万が一本体もしくは部品が落下した場合、けがの原因になります。
- 本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、必ず先にパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜く
- 梱包用のビニール袋を取り外した小さな部品（ネジなど）を乳幼児の手の届くところに置かない
ビニール袋をかぶったり、小さな部品を誤って飲み込んだりすると、窒息の原因になります。
- 熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。
- 本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
発火の原因になります。
- AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながらない
発熱、発火の原因になります。
- 電源コードにものをせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
- 電源コードの芯線（電気の流れるところ）が新壊したり、ショートし、発火・感電の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。
- 液晶パネルから漏れた液体（液晶）には触れない
誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体（液晶）が漏れた場合には、液体を口に入れたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液体が目や口に入った場合は、すぐに水で5分以上洗い、医師の診断を受けてください。また、眼鏡や衣服に液体が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めます。
- 接地接続について以下を守る
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜き、乾いた布で電源プラグをふいてください。

注意

- 眼精疲労を防ぐため、以下を守る
ディスプレイを見る作業が続くときは、ディスプレイ画面の明るさ、書体およびキーボード面における明るさと周辺の明るさの差をなるべく小さくしてください。また、連続作業をするときは、1時間10分から15分程度の休憩をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。
- ディスプレイの角度などを調節時に、指をはさまないよう気をつける
- 電源を入れた状態で、おお向け、横たおし、逆さまにして使わない
破損してけがの原因となることがあります。
- 人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。
- 液晶パネルの表面を傷つけない
●前面を強く押したり、衝撃を与えない
画面に力が加わると、破壊や故障、けがの原因となることがあります。
- 画面を先のとがった物で押さない
破壊や故障、けがの原因となることがあります。
- 使いたるものごとすり、たいたたりしない
破損してけがの原因となることがあります。

